

墨田区議会だより

第 46 号

発行 昭和61年1月1日
 発行所 墨田区議会事務局
 〒130 墨田区横綱一の6-1
 電話 626-3151(大代表)

第4回定例会

昭和五十九年度各会計 歳入歳出決算を認定

墨田区議会は、昭和六十年最後の第四回定例会を、去る十一月十九日から二十九日までの、会期十一日間にわたって開きました。

本会議初日の十九日は、始めに会期を決定し、次に十月一日付で就任した教育委員並びに十一月五日付で就任した選挙管理委員から、それぞれあいさつがありました。

続いて一般質問に入り、自由民主党、公明党、新自由・民社クラブ、日本共産党の四党派から各一名の議員が質問を行い、昭和六十一年度行財政運営、空き教室の利用計画、国民年金新制度、国民健康保険料の値上げについてなどを取り上げ、これに対して、区長、教育長がそれぞれ答弁を行いました。(二面参照)

決算報告三件を認定

一般質問終了後、前定例会で決算特別委員会に付託し審査した昭和五十九年度の各会計決算報告三件を議題とし、起立表決の結果、賛成多数で委員会審査報告どおり認定しました。(二面参照)

地方財政措置に関する意見書 全会一致で議決

区民の皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年は、新国技館のオープンに始まり、桜橋の開通、ポランティアセンターの完成など、話題の多い年でした。

しかしながら一方では、国の財政再建の方策として、高率補助金の一律削減が実施されるなど、区の財政環境は一



墨田区議会議員 樋口 丈吉

層厳しさを増してまいりました。本年も区議会といたしましては執行機関と共に限られた財源の有効活用を図りながら区民生活の向上を目指して努力を重ねてまいります。

今後とも、特段のご支援とご協力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。新年のご挨拶といたします。

次に、議員から提出された「昭和六十一年度予算における地方財政措置に関する意見書」を議題とし、委員会付託を省略し全会一致で原案どおり可決しました。(別掲参照)

最後に区長からあいさつがあり、第四回定例会を閉じました。

陳情の 審査結果

次に、議員から提出された「昭和六十一年度予算における地方財政措置に関する意見書」を議題とし、委員会付託を省略し全会一致で原案どおり可決しました。(別掲参照)

最後に区長からあいさつがあり、第四回定例会を閉じました。

議決した意見書(要旨)

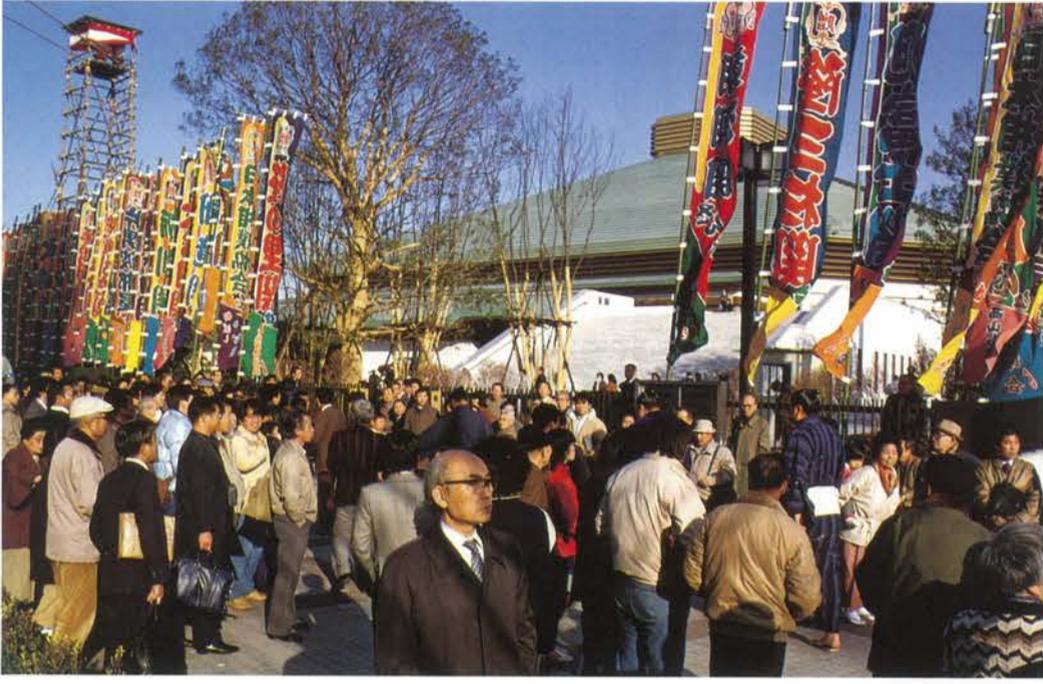
昭和六十一年度予算における地方財政措置に関する意見書

政府は、昭和六十年年度予算において、国庫補助負担率の一律引き下げを実施した結果、本区の国庫支出金額は、七億七千余万円の削減となり、しかも、その大部分が保育所運営費や老人福祉施設費など住民生活に直接影響を及ぼし、その対策に苦慮している。

このような状況の中で、国は昭和六十一年度予算案で、更に厳しい削減策を検討していると伝えられているが、単に国の財政事情のみの理由をもって国庫補助負担率を引き下げることは、国と地方の財政秩序を乱し、地方自治体に一方的に財政負担を転嫁するものであると言わざるを得ない。

よって本区議会は、政府が、地方財政の確立と住民生活の向上を図る立場から、国庫補助負担率の一律引き下げは「今年度限りの暫定措置」とし、昭和六十一年度以降に継続しないよう強く要望する。

大相撲初場所(60・1・25 両国国技館)

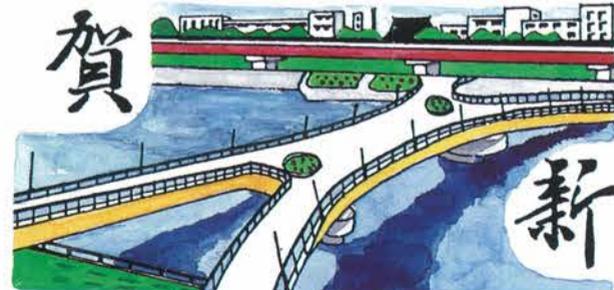


内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣あて

- ◎ 一部採択・一部不採択としたもの
 - ◇ 保育所運営費の国庫負担削減 反対等に関する陳情 採択とした分
 - 保育料の値上げ (理由)
 - 一 応分の受益者負担はやむをえない
- ◎ 不採択としたもの
 - ◇ 「学童保育」の充実に関する陳情 (理由)
 - 一 趣旨にそつことは困難である



謹 副議長



賀 新



年

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|---|
| 青 | 甚 | 並 | 山 | 柴 | 沖 | 樋 | 湯 | 原 | 早 | 矢 | 蘭 | 槐 | 柴 | 瀧 | 田 | 小 | 大 | 原 | 渡 | 武 | 坂 | 佐 | 加 | 西 | 松 | 土 | 中 | 乙 | 西 | 牛 | 阿 | 中 | 坂 | 熊 | 小 | 堺 | 木 |
| 山 | 野 | 木 | 崎 | 田 | 山 | 口 | 本 | 川 | 川 | 口 | 田 | 田 | 田 | 澤 | 中 | 早 | 和 | 久 | 田 | 内 | 岸 | 藤 | 藤 | 原 | 野 | 橋 | 村 | 津 | 山 | 部 | 沢 | 下 | 谷 | 池 | 内 | | |
| 政 | 保 | 政 | 来 | 丈 | 令 | 正 | 幸 | 甲 | 隆 | 昌 | 良 | 仁 | 内 | 子 | 幸 | 雄 | 裕 | 良 | 啓 | 榮 | 四 | 耕 | 文 | 弘 | 正 | 光 | 一 | 恭 | れ | 幸 | 利 | 武 | 美 | | | | |
| 雄 | 緑 | 雄 | 吾 | 治 | 満 | 吉 | 二 | 義 | 一 | 明 | 勲 | 男 | 仁 | 内 | 子 | 幸 | 雄 | 裕 | 良 | 啓 | 榮 | 四 | 耕 | 文 | 弘 | 正 | 光 | 一 | 恭 | れ | 幸 | 利 | 武 | 美 | | | |
| (議席番号順) | (公) | (公) | (自) | (自) | (自) | (自) | (自) | (自) | (公) | (公) | (自) | (自) | (自) | (自) | (区) | (区) | (新自) | (共) | (共) | (共) | (自) | (自) | (自) | (自) | (自) | (自) | (新自) | (共) | (共) | (自) | (自) | (自) | (自) | (自) | (新自) | (新自) | |

墨田区議会議員は虚礼自肅の申し合わせをいたしました。本紙上をもって新年のごあいさつに代えさせていただきます。

行政改革を推進し 「活力あるまちづくり」に努力

区長 答 弁

六十一年度における財政運営と 重点施策は 自由民主党

問 国は、昭和六十一年度予算において、今年度引き続き地方への補助金の大幅削減を検討しているとの伝えられている。このような厳しい財政環境の中にあっても、本区は、年々着実に伸びを示し、「人と緑と産業の調和した町づくり」に向けて大きく前進している。

答 国は、昭和六十一年度予算において、今年度引き続き地方への補助金の大幅削減を検討しているとの伝えられている。このような厳しい財政環境の中にあっても、本区は、年々着実に伸びを示し、「人と緑と産業の調和した町づくり」に向けて大きく前進している。

しかし、今後の区政は、総合庁舎の建設など、大事業への取り組みが予定され、厳しい財政運営のもとで、より踏み込んだ政策の選択が求められる。

昭和六十一年度における財政運営と重点施策について、区長の考え方を伺いたい。

「江戸博」と区の活性化対策は

問 「江戸東京博物館」の誘致に関しては、本区をはじめ、八区一市が運動を行い、その結果、両国に建設する方針を固めたことと伝えられている。そこで、

問 本区の懸案事項の一つである「雨水ポンプ場」の新設について、「江戸東京博物館」の建設が固まった現在、両国地域の抜本的対策をどう考えるか。

問 本区は、昭和六十一年度四月、国民年金制度が改正される。新制度へ向けて、制度の安定と公平を確保し、制度に対する信頼を得るため、区長は、今後の広報計画をどう進めていくつもりか。

問 去る六十一年十月二十一日から二十八日の六日間にわたり決算特別委員会を開きました。この特別委員会では、昭和五十九年度墨田区一般会計、同国民健康保険特別会計、同老人保健医療特別会計の各歳入歳出決算の審査を行いました。

隅田川のほとり

(35)

中居堀通り

江戸時代初期の「本所開拓」では、江戸の新しい街地整備、飲料水の確保などを目的として多くの堀割が掘られました。旧向島地域東部の農業用水あるいは生活水路として使われていた堀割に「中居堀」がありました。

問 本区は、昭和六十一年度四月、国民年金制度が改正される。新制度へ向けて、制度の安定と公平を確保し、制度に対する信頼を得るため、区長は、今後の広報計画をどう進めていくつもりか。

問 去る六十一年十月二十一日から二十八日の六日間にわたり決算特別委員会を開きました。この特別委員会では、昭和五十九年度墨田区一般会計、同国民健康保険特別会計、同老人保健医療特別会計の各歳入歳出決算の審査を行いました。

問 去る六十一年十月二十一日から二十八日の六日間にわたり決算特別委員会を開きました。この特別委員会では、昭和五十九年度墨田区一般会計、同国民健康保険特別会計、同老人保健医療特別会計の各歳入歳出決算の審査を行いました。



小村井梅園 広重

第4回定例会 会議開会状況

第4回定例会中に開いた会議は次のとおりです。

11月	19日	議会委員会
	22日	厚生文教委員会
	25日	区民衛生委員会
	26日	都市開発対策特別委員会
		建設委員会
		運営委員会及び各派代表者合同会議
	27日	総務委員会
	29日	議会委員会
		編集委員会
		運営委員会及び各派代表者合同会議

国保料の値上げに反対せよ

日本共産党

問 鈴木都政は特別区国保料を均等割については、九千円を一萬二千円に、保険料の最高限度額を三十一万円から三十五万円に値上げしようとしている。区民の生活実態は負担の限度を超えているが、区長はどうか考えるか。

田区地方行革大綱三ヶ年計画が提出された。国は地方自治の特性を否定し、国基準のおしつけを強めてきた。この上、地域施策の展開に国の介入を許すことは容認できないと考えるが、区長の見解を伺いたい。

問 自治省の要請に基づき、墨田区は、昭和六十一年度決算特別委員会にて慎重に審査

国民年金新制度のPRは

新自由・民社クラブ

問 小学校から中学校へと段階をふんで、性についての正しい知識を与えるよう、確かな教育を積極的に推進すべきであるが、どうか考えるか。

委員会の最終日には、各会派の代表者が昭和五十九年度各会計決算について討論を行った後、起立表決を行い、いずれも賛成多数で原案どおり認定することとしました。

あとがき

明けまして、おめでとございます。今年も、区議会の活動のみなさんにお知らせするため、「区議会だより」のより一層の充実に努力してまいります。

ご意見、ご要望などは、左記へお寄せください。
区議会事務局 調査係
☎ 626-1315 内線 247